

## ※ 2日コースについてはお問い合わせください

お問い合わせ

オフィスJ . corporation

03-3414-2111

<https://www.officej-corporation.jp>

### 研修プログラム

※ 進行の都合上、プログラムの順序などは入れ替えることがあります

時間

項目

補足

午前

#### 1.プレゼンテーションと説明責任(基礎講義)

- (1)「伝える」ための3大ツール～共通点と違い
- (2)自治体職員として——説明責任の重要性

#### 2.「伝わるプレゼンテーション」であるために

- (1)プレゼンの出発点＝「相手の言葉」で説明を
- (2)情報の視覚化
- (3)レディネス(相手の予備知識)の把握

#### 3.わかりやすく効果的な話の組み立て

- (1)SDS法とWhole-Part法(「起承転結」の常識とウソ)
- (2)伝達する項目と内容を絞る
- (3)話のスピードと間の重要性
- (4)「起承転結」の常識とウソ
- (5)漢語熟語はNG＝耳に馴染む和語を優先
- (6)時間がないときの省略の2タイプ
- (6)「項目の階層化」を明確にする推奨話法
- (7)話に区切りをつける「題目語の先出し」

#### 4.対個人、対集団プレゼンテーションのコツ

- (1)「資料あり」の説明、「資料なし」の説明の違い
- (2)ボディランゲージとアイコンタクト
- (3)プレゼンテーションの土台を築く「傾聴力」
- (4)講評と感想の大きな差異
- (5)呼びかけ文の乱発は「説明」の範疇超過
- (6)「小項目」のナンバーリングにご注意

#### ○レディネスの把握

「レディネス」とは聞き手(説明を受ける側)の予備知識のこと。聞き手の予備知識に応じた説明をすることがプレゼンテーションの鉄則である

#### ○SDS法とWhole-Part法

SDS法とは「Summary→Details→Summary」の頭文字を取ったもので、「結論または総論を先に」という考え方。Whole-Part法とは「全体から部分へ」という考え方。いずれも起承転結の逆。

#### ○情報の視覚化

諸々の情報を垂れ流して伝えるのではなく、聞く人の心のスクリーンに「情景を思い描きやすい情報」に変換して伝えるテクニック。オフィスJ . corporationで用意した題材を基に、情報伝達のスキルを学びます

#### ○時間がないときの省略の2タイプ

例えば伝達項目が10あったとして「1項目ずつ時間短縮」するやりかたと、「項目数を削減する」やり方

#### ○題目語の先出し

例／………が埼玉県政策です(題目語後出し)  
埼玉県政策は………です(題目語先出し)

12:00

昼休み

13:00

午後

#### 5.【演習】模擬住民説明(対集団プレゼン)

- (1)グループ内でプレゼン(個人単位)
- (2)グループ内での講評・アドバイス
- (3)講師による全体講評

#### 6.ロジカルプレゼンテーション

～政策プレゼンテーション能力を磨く～

- (1)政策の計算式
- (2)「ネガティブの解消型」と「ポジティブの拡大型」

#### 7.書面プレゼンテーションのポイント

- (1)読みやすい1文の平均字数は35～65文字
- (2)表の縦罫線はカットするとスッキリする
- (3)説明したい方向に誘導するグラフ作り
- (4)視線の可動範囲と書類の読みやすさ
- (5)ホワイトスペースの活用(余白は手抜きに非ず)
- (6)可読性、視認性を考慮したフォント選びを
- (7)図解と説明文は近接
- (8)リードの役割とAIDMAの法則
- (9)磁力の弱い単語系見出しと磁力の強い文章系見出し
- (10)長体と平体、フォントの差別化

#### 8.発信力を高めるパワーポイント

- (1)DXの推進と説明資料の変遷
- (2)会場最後列の人との「距離」に配慮
- (3)1枚のスライドの平均説明時間
- (4)ワンスライド・ワンメッセージ
- (5)アニメーションの多用は嫌われやすい
- (6)パワポは睡眠薬? Power-Pointの弱点
- (7)「ノート」の充実と発表者ツール

#### ○講師による全体講評

プレゼン演習で受講生が陥りやすい「数値データの羅列」「(活字資料に頼るあまりの)漢語熟語の使いすぎ」「大項目と小項目のナンバーリングの混乱」「マイナス・プラス話法とプラス・マイナス話法」などを解説。

#### ○政策の計算式

政策＝目標－現状

#### ○ロジカルプレゼンテーション

「インフルエンザの予防注射は△月△日、行います」といった告知伝達型プレゼンでは、重要事項の強調が大切で、「論理性」は必要とされない。翻って行政の施策などを周知したり、住民の同意を得るための政策プレゼンでは「論理性」も求められる。政策プロジェクトや事業案を住民説明する際のポイントを解説。

#### ○「ネガティブの解消型」と「ポジティブの拡大型」

「ネガティブの解消型」は現状がマイナス状態にあり、その改善を目的とする政策(事業)タイプ。「ポジティブの拡大型」は住民にとっての理想像を設定し、それを追求していくもの。

#### ○ホワイトスペース

ホワイトスペースとは余白のこと。余白があることで、余裕のある情報処理が可能となり、余白がなくなると、情報処理の余裕がなくなり文字を読み飛ばしやすくなる。

#### ○リードの役割とAIDMAの法則

「リード」とはいわゆる導入文のこと。タイトルと本文の橋渡しをする、通常150～200字の小文。AIDMAの法則とはAttention(注意を引く)Interest(関心を持たせる)Desire(必要性を訴える)Memory(記憶に刻む)Action(実行に移す)の頭文字を取ったもの。